

JICA 海外協力隊募集

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、開発途上国で現地の人々と同じ生活をしながら、ともに働き、国づくりに貢献するJICA海外協力隊を募集します。

計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野、約180職種の仕事が必要とされています。あなたの技術・経験を開発途上国で活かしてみませんか？

- 1.募集期間
12月11日（月）正午締め切り
- 2.応募資格
生年月日が1953年12月13日から2004年8月2日までの日本国籍を持つ方
- 3.募集詳細
JICA海外協力隊ウェブサイト
- 問い合わせ
JICA 海外協力隊募集事務局
☎045-410-8922(平日10:00~12:00、13:00~19:00)
JICA 四国 ☎087-821-8825 (平日9:30~17:30)



若年者対象「合同企業説明会」のご案内

- 1.日 時 12月13日（水）13:30~17:00
(受付開始13:00~)
- 2.場 所 松山市総合コミュニティセンター
企画展示ホール1F
- 3.内 容
参加企業（25社予定）は、若年者採用予定のある企業が参加。参加企業は決定次第、「わくわくワーク愛媛ホームページ」に掲載いたします。
- 4.対 象 愛媛県内の企業への就職を希望する次の県外・県内在住者
(1) 愛媛県内の企業へ就職を希望する大学生、高校生等含む概ね35歳未満の若年者
(2) 上記の保護者（※見学を可能とします。）
- 5.その他
参加無料・予約不要・服装自由・履歴書不要
- 申込・問い合わせ
若年者地域連携事業事務局（愛媛労働局委託事業）<受託企業>
株式会社 東京リーガルマインド
松山支社 ☎070-1746-5333
✉ehime-jakunen@lec-jp.com



2028 AM から FM へ

南海放送は、全国の民放ラジオ43局とともに2028年秋までにFM局になることを目指します

南海放送ラジオは、2024年2月1日から9月30日まで、ワイドFM転換実験として、総務省による「AM局の運用休止に係る特例措置」に参加し、AM新居浜局の運用を休止させていただきます。これにともない上島町ではAM1116kHzで南海放送ラジオをお聴きいただけなくなる場合があります。

この機会にいい音質でエフナンをお聴きいただけるワイドFMやradikoなどでお聴きいただけますようお願い申し上げます。

ワイドFMの受信には周波数90.0~94.9MHz対応のラジオが必要です。エフナン南海放送91.2MHzで南海放送を聞くことができます。

南海放送株式会社 新時代FM準備室
☎089-915-0917 (平日10時~17時)

70th 私たちは、愛媛主義 南海放送

双葉俳壇 一六九回句集【岩城】

榎の実のとりがり帽子筆箱に 伊佐 幹男
終便を待つ停留所後の月 田中 華丘
団栗の坂道駆ける笑顔かな 澤田 丈子
団栗のまろぶ小川に溜りけり 幸本 郁夫
十三夜墨絵のごとく瀬戸の島 山元 征子
在りし日という侘しさよ後の月 美濃部妃苗
後の月友のラインに空見上ぐ 森本 伸子

逆上がり児のポケより木の実落つ 古林 幹枝
団栗を固くにぎりて童は眠る 田名後篁雨
露けしや胡弓の音色に更ける街 幸本 孤燈

○広報かみじま11月号の句集欄で読み仮名に訂正がありました。
待ちわびし曾孫誕生野菊晴れ

今治税務署からのお知らせ 消費税インボイス制度説明会

説明会の名称	開催日時	開催場所	定員
インボイス制度説明会 登録要否相談会	12月14日（木） 14:00~15:00	今治税務署 今治市常盤町四丁目5-1 (別館2階 大会議室)	24名

※「インボイス制度説明会」では、個別相談にも対応しております。
※「登録要否相談会」については、説明会終了後、登録申請を希望される方を対象に申請手続きのサポートを行います。

説明会は事前予約制ですので、事前にお問い合わせ先まで申込みをお願いします。

お問い合わせ先
今治税務署 個人課税第一部門 法人課税第一部門 ☎0898-32-6100 (代表) 自動音声案内にそって、「2」を選択してください。

『シゴト発見フェス in 愛媛』
～あなたにピッタリの企業を"見つける"合同説明会～

県内52社が参加予定。ツアー・データ・適性診断・動画・セミナーであなたにピッタリの企業を見つける合同説明会

日時：令和6年1月6日（土）10:00~15:30
場所：愛媛県県民文化会館2階 真珠の間
対象：2025年・2024年3月卒業予定の学生、既卒3年以内の求職者の方
申込み：事前申込み要
料 金 ：無料

●問い合わせ ジョブカフェ愛 work
☎089-913-8686 ☎089-913-8685



2023年アメリカ・ハワイ火災救援金について

令和5年8月23日から、上島町では「2023年アメリカ・ハワイ火災救援金」として広く皆さまに被災地への支援をお願いしてまいりました。

令和5年9月29日の時点において、皆さまからお寄せいただいた募金が25,579円になりましたので、上島町災害義援金30,000円と合わせて、全額を日本赤十字社に送金させていただきました。

皆さまの温かいご支援・ご協力に感謝を申し上げます。とともに、一日も早い復興を心より祈念申し上げます。



かみじま郷土話 22

岩城中学校の校門のそばに「師道顕揚之碑」が立てられています。岩城中学校に通われた皆さんにとっては馴染みがあるかも知れません。この碑は、明治4年頃から岩城島に開設されていた私学「知新校」の館長であった藤井修之輔の遺徳をたたえて彼から教えを受けた門弟によって大正13年11月に建立されました。

碑を建てた門弟のひとりに、山口玄洞という人物がいます。玄洞は、文久3年(1863年)に、尾道市の医者である山口壽安の長男として生まれました。父である壽安は、貧しい人から診療代を取らないことから地域の人々に慕われていました。玄洞が数え9歳の時には、父の勧めにより岩城島に渡って知新校に入学し、仁・義・礼・智・信など儒学の徳を学びました。父からは「先日相贈り申し候枕ハ余り高く御座候て弁理よろしからず候得は茶枕相調へ送り進し申すべく候哉 御しらせ申さるべく候」(先日贈った枕が高いうならば、茶枕をあらためて送ろうか)など、

愛情あふれる手紙がたくさん届いたようです。

しかし、明治10年に玄洞は父の訃報を突然受けることとなり、岩城島で学業を続けることができなくなりました。数え15歳の時でした。玄洞は家族を支えるために荒物の行商をはじめますが、将来の事を考えて、明治11年に母の許しを得て大阪で洋反物店に勤めました。玄洞は、誠実に客に対応したことから、店主や客から信用を得ることができたため、明治14年には独立して洋反物の卸業山口商店を開くことができました。そして、商人となった玄洞は会社を順調に成長させて、大阪を代表する実業家となりました。

玄洞は、築いた資産を基に、各地の神社やお寺、教育や医療機関に多額の寄付を行いました。また故郷の尾道市には、上下水道建設資金の4分の3を負担しました。こうした玄洞の行いには、患者に対して見返りを求めなかった父の姿を見て育ったことや、父の死により岩城島

での学業を断念せざるをえなかったことから、困った人に手を差し伸べるといふ強い想いがあったのだと感じます。



▲「師道顕揚之碑」(岩城中学校)



教育課 曾根 大地